

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	36	大学等名	京都光華女子大学短期大学部
テーマ	テーマ I・II 複合型		

**【総括評価】**

S：計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

**【コメント】**

<優れている点>

- ・カリキュラムが密な短期大学において、アクティブ・ラーニング（AL）を導入する領域が確実に増えていることは評価できる。正課の中で、学生の主体性を促す学生提案型授業の導入も予定されており、その効果が期待され、評価できる。
- ・総合的評価提示システムを導入し、学修成果の可視化の核であるディプロマ・ポリシー（DP）の達成度評価に努めている。また、学修成果の可視化を教育改善の基盤とするのみならず、データ提供者である学生の学修改善に役立てていることは評価できる。さらに、様々な手法で学修成果の定量的な把握に努めているが、卒業生や企業にインタビューを丁寧に行うことで、教育効果の遅効性についても検証できており、評価できる。
- ・事業の実施体制について、学内においては多様な調査結果を一元化して管理、活用できる体制が整っており、評価できる。また、PDCA サイクルの構築のため、DP 各項目達成度間の相関係数を数値指標として設定している。本事業が大学改革全体を推進するデザインになっており、評価できる。